

金融市場NOW

対中貿易赤字 拡大へ

制裁関税前の駆け込み需要が要因か

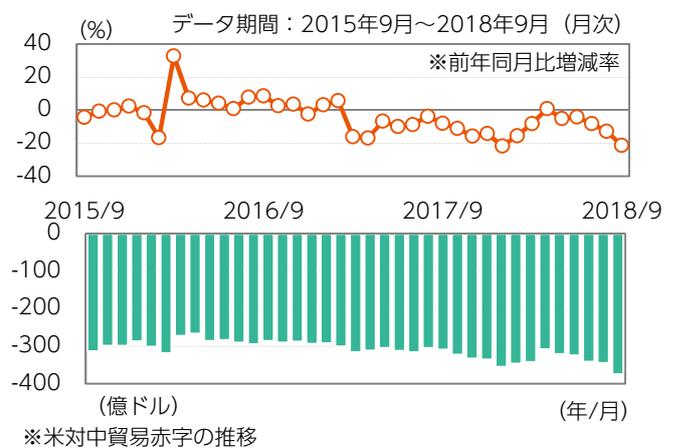
- 米商務省が発表した9月の貿易統計によると、対中国の貿易赤字は374億4,500万ドルとなった。
- トランプ米政権の中国製品に対する制裁関税第3弾の発動による駆け込み需要が要因か。
- 対中貿易赤字の改善がみられなければ、今後、米国は中国に対しさらに圧力を強める可能性も。

11月2日に米商務省が発表した9月の貿易統計（通関ベース、季節調整済み、以下同様）によると、対中国の貿易赤字は前月に比べて8.8%拡大し374億4,500万ドルとなりました（図表1）。

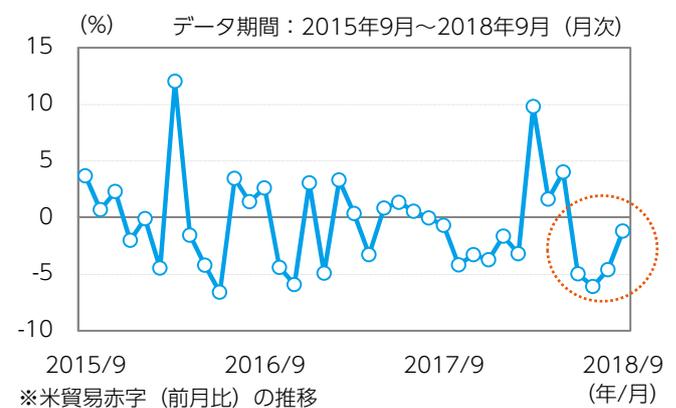
米国内の需要が引き続き底堅く、輸入額が過去最高水準となっているなか、トランプ米政権が9月24日に消費財など合計で約2,000億ドル分の中国製品に対して10%の追加関税を課す第3弾となる制裁関税を発動したことにより、駆け込み需要が膨らんだことも大きな要因とみられています。トランプ米政権は、保護主義的な通商政策を進めているにもかかわらず、貿易赤字は拡大を続けています。具体的な効果が見えないなか、貿易赤字の削減を求めている中国に対し不満がいつそう募りそうです。米国全体の貿易赤字額は、9月単月で762億5,100万ドルとなり、前月比1.2%の拡大となりました（図表2）。品目別で見ると、輸出は、石油製品などの産業資材や資本財が4ヵ月ぶりにプラスに転じるなど全体をけん引し増加する一方で、輸入は資本財や商品などが幅広く増え、金額の大きなものを中心に5ヵ月連続で前月を上回りました。

米国の制裁関税に対し中国が報復関税を課した7月以降、米国の主力輸出品である大豆の輸出は落ち込んでいます（図表3）。対中貿易赤字の改善がみられなければ、トランプ米大統領は中国に対しさらに圧力を強める可能性もありそうです。

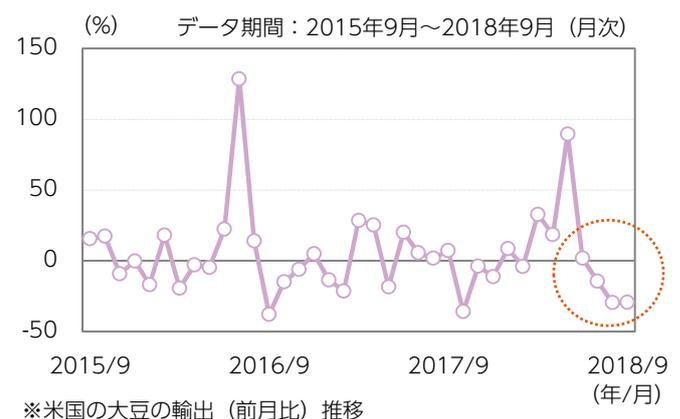
図表1：米対中貿易赤字は拡大傾向にある



図表2：貿易赤字は前月比でマイナスが継続



図表3：大豆輸出の落ち込みは赤字の拡大を招く恐れも



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>